

活動名 障害児の余暇活動と支援	団体名	府中町手をつなぐ親の会
	地域	広島県安芸郡
	代表者	会長 長尾 知絵子
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>主として月1回定例会を開き、情報交換や余暇活動の準備をしている。余暇活動はプール・リズム・スポーツ・音楽・料理などさまざまな活動を実施し、一人一人が興味・関心を持ち、力を発揮できる活動を考える。また、周囲の人たちへの理解を深め、共生できる社会づくりをめざし、研修会等を提案する。</p> <p>◆実施時期：① CAPワークショップ(大人7/25、子ども7/28) 府中町老人福祉センター 福寿館 ② 夏祭り(8/22)府中町老人福祉センター 福寿館 ③ バス遠足(3/22)安佐動物公園</p> <p>◆参加人数：① 大人12名、子ども27名 ② 子ども54名、保護者27名、ボランティア38名 ③ 子ども17名、保護者12名、ボランティア14名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 201名</p>		



《夏まつり ～多くの友だちが集まったよ～》



《かき氷屋さん ～ぼくもできるよ!～》



《CAP(子どもの暴力防止)ワークショップ》



《どうぶつえんにいったよ!》

#### ◆実施に伴う効果

##### ①CAPワークショップ

大人ワーク:我が子のいじめによる不登校等の苦悩のある保護者から「もっと多くの人が参加すべきだ」という感想があった。

子どもワーク:学級で“なんでも相談会社”という係りをつくりました。今日のことを参考にしてみんなの相談にのりたいとおもいます。という感想があった。

##### ②夏祭り

地域の子どもたちの参加により、にぎやかに行なわれた。障害によっては難しいことも子ども同士が助け合って行動する姿がみられた。

##### ③遠足

館内での取組が多い中、外での活動・団体行動の支援の方法を学ぶきっかけとなった。

#### ◆苦勞した点

##### ①CAPワークショップ

地域の人への周知の方法

広報掲載・案内配布・関係会議での案内・呼びかけをしたが、参加者が増えなかった。

対象者 小3～6の子どもを対象にしたため、理解度に幅があった。

##### ②夏祭り

当日運営をまかせていたボランティアに新型インフルエンザの疑いがあり、準備が遅れ急な対応におわれた。

##### ③遠足

各校の学校行事を優先すると日程調整が難しい。

館内での活動と違い、想定できない行動も多く、集団行動については見直しが必要

#### ◆今後の課題・発展の方向性

##### ①CAPワークショップ

本来障害のある子どもへのワークショップを望んだが、障害の種類・程度や年齢の違う子どもたちに実施は難航した。地域の子どもたちが自信をもって生きること、自分を大切に思い、その上で考えてほしい。障害の有無に関わらずお互いの気持ちや力を高めていけるような講座等を考えていきたい。

##### ②夏祭り

それぞれの子どもたちができる取組を見直し、少しずつ自主的な活動を楽しくできるよう増やしていきたい。

##### ③遠足

広範囲での行動の仕方、ボランティアの支援の仕方など多くの課題はあるが、活動の枠を広げ、館外での活動も取り組みたい。ボランティアとの事前の打ち合わせ、確認事項を明確にし、実施したい。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

支援していただいたお陰で、例年にない活動を実施することができました。

有意義な活動となり、子ども達の笑顔を沢山みることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも支援をよろしくお願いいたします。